

高野辰之 たかのしげゆき 國文學者、文學博士。明治九年四月十一日長野縣生
れ、昭和二十二年一月二十五日没（八六―九五）。號啞峰生、斑山。

明治二十年長野師範學校卒。四十一年東京音楽學校教授、昭和二年大

正入學教授、翌年帝國學士院會受賞。小學唱歌「ふるさと」、

「春の小川」、

「おぼろ月夜」等の作詞者であり、歌謡史・演劇史研究の確

著者。

著書『淨瑠璃史』（明治二十二年十一月四日春陽堂）、『教科歴代歌

典』（淺井 潤 村松清陰 共編 明治二十四年六月二十九日上原書店）、『國文

學史教科書』（編、明治二十五年一月七日上原書店）、『近松世話淨

瑠璃詳解・第壹卷』（高野斑山名、明治四十年一月一日春陽堂）、『家

庭お伽話』（同、吉岡向陽共編、第十八篇花鳥の王女 傳 俣 春 明治四十

一年八月十五日、第二千篇巨人退治 御伽棚 四十二年五月十五日、第二千一

篇双子武士 續御伽棚 七月十五日、第四十一篇肉質人裁判 龜の恩返 四十二年二

月十五日春陽堂）、『近松脚本集』（南茂樹共校訂、上卷、明治四十

四年五月二十五日、下卷、八月二十日合館「演劇叢書」）、『白鳥

の鷹網』（高野斑山名、吉岡郷甫共編、大正七年十一月十八日春陽堂

『家庭お伽話』（同、日本趣味十種）（同、合著・芳賀矢一編、大正

十二年十一月一日文教書院「國學院大學叢書」）、『評 釋名曲選』（大

正十五年八月二日富山房「名著文庫」）、『日本演劇の研究』（大正

十五年七月十五日、第一集、昭和二年八月八日改清社）、『日本音楽

講話』（田邊尚雄合著、昭和二年十一月一日文化

生活研究會「家庭科學大系」）、『民謡・童謡論』（昭和四年二月十日春秋社「春秋文庫」）、『歌



『無演劇講話』(昭和四年十月十八日寶文館)、『國漢外語辭典』(芝

染夫人郎共總纂、昭和五年十月十五日寶文館)、『婦人公論大學・音樂

篇』(合著・島中雄作編、昭和八年七月十四日中央公論社)、『國劇

史概観』(昭和九年一月十六日春秋

社)、『古文學踏査』(昭和九年七

月十日大岡山書房)、『藝淵耽溺』

(昭和十一年十一月二十二日東京

堂)、『藝林道遙』(昭和十二年十

二月十六日東京堂)、『日本文學論議』(吉澤義則共編著、昭和十六年

十一月二十六日東京堂)、『日本文學年表』(本間久雄共編著、昭和十六年

十一月二十六日東京堂)、『日本文學本史』(國語文化講座・第四卷一

國語藝術篇』(合著、昭和十六年八月二十五日朝日新聞社)、『面々

狂言』(昭和十七年二月二十日東京堂)、『志士文學』(昭和十七年

七月二十日東京堂)等。

